

**令和5年度 第1回 福知山鉄道館企画会議  
議事概要**

1 日 時 令和5年5月24日（水）午後6時00分～午後7時30分

2 場 所 市民交流プラザふくちやま 3階 3-2会議室

3 参加者

委 員	柳井津 佑健 (福知山商工会議所) 福井 佳代 (福知山観光協会) 赤井 貴恵 (子育て支援NPO法人おひさまと風の子サロン) 松山 美昭 (西日本鉄道OB会/福知山SL保存会) 前田 智久 (福知山市小学校教育研究会 社会科部長) 岨尾 はづき (公募委員) 宮田 毅 (公募委員) 友塚 絢人 (公募委員)
事務局 (福知山市)	森田 成章 (産業政策部産業観光課商業担当課長) 河野 恒州望 ( " 商業振興係長) 大柿 義広 ( " ) 高石 麻衣 ( " )

4 会議概要

次 第	内 容
事務局挨拶	森田担当課長
各委員及び事務局紹介	河野係長
1 昨年度振り返り	
2 展示制作の進捗報告	<p>(主な意見)</p> <p>■ジオラマに関して、新旧駅舎を一緒に比較して見られるのが、子どもたちにとっても分かりやすくて良い。</p> <p>■ジオラマは、小さい子供が奥側まで見られる高さなのか。大人は斜め上から全体が見えるが、人が集中した場合、端から見えない部分がないか。 ⇒高さは 70cm で、車いす目線でも見えるよう配慮された設計となっている (イラスト参照)。小さい子供用に台を設置する工夫が可能か、制作者と協議したい。</p> <p>■ポップランド1号館では、ジオラマ前に手製の台を置いていた。</p> <p>■台を置くなら手製が良い。他施設にて、折り畳み式の既製の台があったが危</p>

	<p>ない印象だった。</p> <p>■ジオラマで夜の風景を演出できないか。 ⇒ジオラマの中から光る仕組みが無く、現時点では不可。電車を光らせることはできるが、建物は光らない。</p>
<p>3 記念イベントの 実施について</p>	<p>(主な意見)</p> <p>■鉄道にちなんだご当地イベント等をしていかないと閑散としていきそう。ロングスパンで考えたほうが何回も楽しんでもらえるのではないか。ショップのデザインも重要。空いたスペースに福知山のお土産屋さんを入れたらどうか。</p> <p>■鉄道館単独もいいが、光秀絡みのイベントはどうか。 ⇒福知山城、広小路、福知山駅、新町商店街、銀鈴ビルを一体的に周遊してもらえるよう、継続的なイベント実施を検討していく。</p> <p>■入場制限があるなら、待っている人の滞留対策を考えるべき。人がただ集まっているだけなのはもったいない。 ⇒ゆらのガーデンと連携を考えていく。</p> <p>■ポッポランド2号館の名称はどうなるのか。 ⇒例えばフクレル別館など案を考えている。JR 東日本が「ポッポランド」を商標登録している。</p> <p>■10月をオープニング月間とし、鉄道の日メインイベントを1回、その他にプチイベントをいくつか実施することで、何度も来てもらえ、印象付けることもできてベストではないか。(ハロウィンやイルミライトとも絡める)</p> <p>■イルミライトで夜間開館や鉄道 OB の話を実施してはどうか。昼間のイベントに行けない人や、コアなファンも足を運んでもらえる。</p> <p>■鉄道の日ミニ SL が走ってほしい。コロナが緩和された中での体験型イベントは喜ばれそうで、全国から鉄道愛好家が足を運ぶきっかけとなるのではないか。</p> <p>■小学生対象の学びの場という視点で考えると、「鉄道の発展した歴史」を教育にむすびつけるのは難しいが、「地域のことが学べる要素」が組み込まれていると面白く、地域学習や総合的な学習の目的で社会科見学に行ける。(例：福知山が鉄道の町であったことにより地域産業がどのように発展していったかをジオラマから読み取る)</p> <p>■土曜日はすくすくひろばがオープンしているので、何か一緒にできることがあるかもしれない。小さくても横のつながりでできることはたくさんある。 ⇒色々な方の参画、協力によって、長期的にイベントが実施し続けられるよう検討していく。</p>
<p>4 ショップ取扱い</p>	<p>(主な意見)</p> <p>■ベビースプーンよりも幼児向けのステンレスの方が売れるのではないか。(鉄</p>

<p>グッズについて</p>	<p>道を意識するのは2歳くらいから)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■鉄道関連グッズの売れ筋確認や、ニーズ、子供に好まれるものをもっと絞り込んだ方が収益に繋がる。限りあるスペースで確実に売れるよう工夫が必要。コアなファン向けにJRが絡められないか(昔使っていた〇〇とか) ⇒ショップの収益は市の歳入になるので、しっかり売れるよう工夫したい。近日中に京都鉄道博物館のショップを視察予定。</li> <li>■丹鉄が人気なのでグッズも売れそう。</li> <li>■鉄道館オリジナルグッズは何種類予定か。単純なものが売れるのではないかな。 ⇒たくさんは作れないが、売れば収益性は高い。</li> <li>■鉄道とスイーツを絡めるのはどうか。(例:蒸気機関車の黒いロールケーキ、車輪のチョコレート、地元のお土産も)</li> <li>■鉄道館のショップにお菓子を置くのは良い(福知山城にはお菓子以外のグッズをメインに置いている。以前ゆらのガーデンにお店があった際も、光秀〇〇という名のお菓子がよく売れた。)ファミリー層には1,000円前後で10枚入りくらいの手軽なものが狙い目。地域のお土産を置くのは2割程度で、鉄道館を全面に出していった方がいいのではないかな(地元の推奨お土産は、観光案内所に多く置いている)。</li> <li>■ガチャガチャがあると良い。観光案内所にも、オリジナルガチャを置いている。鉄道館オリジナルガチャを置くのも良い。</li> <li>■イベントの日に合わせて駅弁を販売するのはどうか。(前年度、まちなかフェスティバルでは15分で120個完売した実績あり)</li> </ul>
<p>5 その他</p>	<p>フレール応援サポーター制度について(報告)</p> <p>ファンを増やす+独自の財源確保を目的に、制度化を進めており、設計上最終調整の段階。会員限定のイベントやプレゼント等、段階的に追加提案していきたい。今後の会議でもご意見を頂戴したい。</p>
<p>6 事務連絡</p>	<p>令和5年度第2回福知山鉄道館企画会議を、令和5年7月12日(水)午後6時~午後7時30分に決定。</p> <p>(場所:市民交流プラザふくちやま3階 3-2会議室)</p> <p>(内容:令和5年度第1回福知山鉄道館企画会議で出た意見のブラッシュアップ、年間スケジュールの提示等)</p>